

報道各位

新潟市美術館

新潟市美術館 令和8年度最初の企画展
「戦後80年 戦争と子どもたち」
開催のご案内

描かれた「子ども」像を通じて、戦時下の美術を考えるユニークな企画です。戦中から終戦直後に描かれた子どもの姿、子どものための絵本や紙芝居、子どもたち自身が描いた作品など、全国各地から集めた優品・珍品約130点。その多くは単なる歴史的記録ではなく、象徴的な意味を持っていました。危機の時代に「子ども」像が担った文脈、時代・社会・美術の抜き差しならぬ関係を、全5章の構成を通じて検証します。

1) 会期：2026年4月11日(土)～5月31日(日)

*5月7日(木)より一部展示替えがございます

*4月21日(火)から4月23日(木)はコレクション展の展示替えのため、企画展のみ開催

2) 休館日：毎週月曜日(5月4日[月・祝]は開館、GW中無休)

3) 開館時間：午前9時30分～午後5時(観覧券の販売は閉館30分前まで)

4) 観覧料：一般：1,200円(1,000円)

高校・大学生：900円(700円)

中学生以下：無料

*カッコ()内は；

・20名以上の団体料金

・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)

・あっちも割料金(新潟市新津美術館企画展観覧券提示で団体料金に割引、1回1名・1年間有効)

*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、並びに一部の介助者の方は無料(受付でご提示下さい)

*会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます

5) プレス公開日：4月11日(土)、12日(日)

・報道関係の方はエントランス受付でお名刺をお願いします。

・カメラマンの方は貴社の腕章をご着用の上、一般来場者にご配慮ください。

・出品作品の画像、担当学芸員の取材対応は、2次元コードよりお申込ください。



お問い合わせ：新潟市美術館(担当：藤井・塚野・菊地)

TEL:025-223-1622 / museum@city.niigata.lg.jp

子どもとは、だれのことか？



青柳喜兵衛《天翔ける神々》1937年 北九州市立美術館

戦後80年

戦争と子どもたち

2026.4.11 土 sat
5.31 日 sun

※5月7日(木)より一部展示替がございます。

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

開館時間 | 午前9時30分～午後5時(券売は午後4時30分まで)

休館日 | 毎週月曜日(5月4日[月・祝]は開館、GW中無休)

観覧料 | 一般 1,200(1,000)円 大学・高校生 900(700)円 中学生以下無料

*カッコ()内は:20名以上の団体料金/リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)

/あっちも割引金(新潟市新潟美術館企画展観覧券提示で団体料金に割引、1回1名・1年間有効)

*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、並びに一部の介助者の方は無料(受付でご提示下さい)

*会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます

主催 | 新潟市美術館、青幻舎プロモーション

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 Tel. 025-223-1622 Fax. 025-228-3051
museum@city.niigata.lg.jp

戦後80年 戦争と子どもたち

今から約80年前、戦時中の美術家たちは、子どもたちの姿をどのように表現したのでしょうか。また、当時の子どもたちは、どのような視覚表現に親しんでいたのでしょうか。

戦時下、画材も配給制となり、作品の発表や表現が厳しく制限されました。その混乱の中で描かれた子どもたちの姿は、現代の私たちに時には苦く、時には切なく、とても複雑な印象を与えます。ある作品では出征兵士を見送り、別な作品では勤労奉仕に参加する。「少国民」として生まれた子どもたちは、けなげに「総力戦」を支える一員として描かれることが少なくありませんでした。そして敗戦後、焼け野原からの復興が目指された時には、画題としての「子ども」は再建の象徴としての意味を担ったのです。

本展では、戦時下から終戦直後にかけて制作された、子どもを主題とする作品、そして子どもたちのための絵本・教科書・紙芝居、さらには子どもたち自身が描いた作品、様々な資料も合わせて約130点をご紹介します。激動の時代に「子ども」像にこめられた意味や思い、そして時代と社会と美術との抜き差しならぬ関係について考えます。



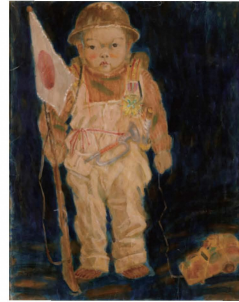
1



2



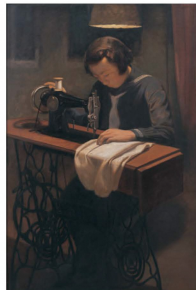
3



4



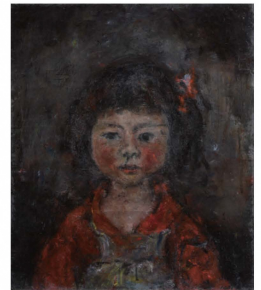
5



6



7



8

1. 小林猶治郎《童心双六》1937年 練馬区立美術館/2. 小杉放菴《金太郎遊行》1944年 栃木県立美術館/3. 今西中通《子供を抱く女》1943年頃 郡山市立美術館/4. 渡部菊二《戦国の少年》1943年 会津若松市教育委員会/5. 中澤弘光《別れの乳房》1940-44年頃 日本赤十字社秋田県支部/6. 服部喜三《燈火管制》1943年 京都市美術館/7. 中尾影《勤労奉仕》1944年 茅野市立北山小学校/8. 麻生三郎《子供》1948年 弥栄画廊

関連イベント

美術講座 *いずれも午後2時～、約90分、当館2階講堂にて、聴講無料、申込不要、先着80名

4月18日(土) 『『ぼくたち』の好きな戦争』

講師：藤井素彦(新潟市美術館学芸員)

5月 3日(日) 『三人の疎開画家』

講師：塚野卓郎(新潟市美術館学芸員)

5月16日(土) 『戦時下 谷中安規の憂いと自己解放』

講師：滝沢恭司(新潟市美術館特任館長)

同時開催

コレクション展

「路傍風景術」

～4月19日(日)

「重力人体／絵の中のパターン」

4月24日(金)～8月2日(日)

新潟市新津美術館の展覧会 Tel. 0250-25-1300

「おでかけ！絵本ミュージアム」 5月23日(土)～8月30日(日)

小さなお子さんがいる、障がいがあるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ

車椅子やベビーカーの無料貸し出し、授乳室のご案内をしています。そのほかにも、来館の際に心配ごとがあればお問い合わせください。可能な範囲で対応いたします。

交通のご案内

バスで(新潟駅バスターミナルから)

B1萬代橋ライン・のりば6など *最も便数が多い路線です
乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩約12分・約860m

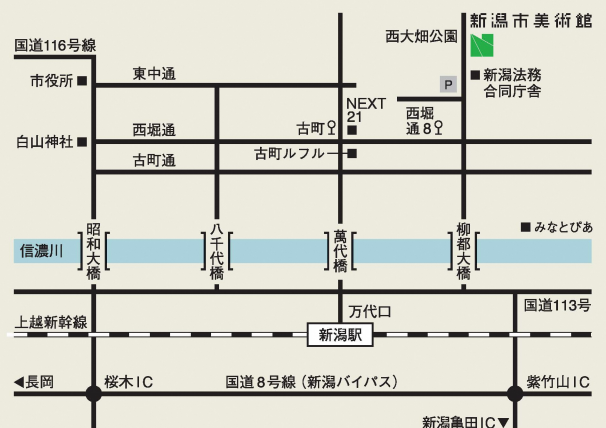
C6八千代橋線・のりば1 *便数は少ないですが、美術館の最寄りバス停に停車します
乗車約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩約5分・約400m

タクシーで(新潟駅万代口から約10分)

自動車で(無料駐車場46台)*当館駐車場は混雑する場合があります

A: 高速道路 | 日本海東北自動車道・新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

B: 国道8号線(新潟バイパス) | 紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分



新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
Tel. 025-223-1622 Fax. 025-228-3051
museum@city.niigata.lg.jp